

## 御坂山塊 釈迦ヶ岳(1,641m)

【日 時】2017年3月25日(土)

【参加者】CL 柘植 SL 石橋 澤田(路) 薄井

【コースタイム】御坂路さくら公園 7:20→1474m峰 10:00→府駒山 11:00→11:30 釈迦ヶ岳頂上 12:00  
→檜峰神社付近 13:10→御坂路さくら公園 14:20



本来山スキーに行く予定でしたが、予定していた前武尊で数日前に雪崩事故があり、埋没して死亡者がでました。ここ最近の降雪状況も不安定そうなので、山スキーは中止にして、ハイキングに切り替えて、御坂山塊の釈迦ヶ岳に行ってきました。

早朝一路、中央高速へ。笹子トンネルを抜けると雪をかぶった南アルプスの稜線がよく見えた。一宮御坂 IC から御坂路さくら公園に…ここに車をデポした。いつものように地図上にある登山道ではなく、CL お得意の藪尾根コースです。尾根の取付き周辺はイノシシ除けのフェンスが張られていて前進できない。フェンス沿いに左右に移動して、出入り口を探しフェンスの檻?から出られた。



なんとかフェンスを突破



急登 20分くらいで送電鉄塔の建つ尾根に

送電線に向かって急斜面を上ると檜の植林の仕事道に出た。直に目的の尾根上に登り高度を上げて行く。だんだん踏み跡が薄くなると雪が出てきて尾根も細くなってくる。藪尾根と思っていたが、岩稜帯の尾根が続いている。左右は急斜面、気温が低いので地面は固い。岩は滑らないが踏み外さないように注意。最後尾の石橋は薄くついた雪の、その下は地面が凍った斜面でストックがないために2歩が出せず、すぐに軽アイゼンを装着した。北斜面なので高度をかせいで行くと、雪が多くなりアイゼンが無くても逆に歩きやすかったのでアイゼンを外す。



意外と厳しい岩稜が続く



岩稜帯が終わると雪が出てくる

1474mのピークを過ぎると尾根は下りになり、いったん車道に出た。車道を少し歩き、また釈迦ヶ岳に向かう尾根に入る。雪は多いところで30cm位ある不安定な斜面を上りきると、一般登山道に合流した。振り返ると登山者がいた。車が日向坂峠まで入り、そこから登ってきた登山者が多らしい。



1474m 峰は平坦な山頂で日当たりがよく雪は少ない



縦走路に出て少し進んだところが府駒山

釈迦ヶ岳の直下の登山道はまた岩が多くなり、雪が融けて凍った登山道に注意しながら登ると、ほどなく、ちょっと広めの頂上(1641m)に着いた。この頃(11:30)には春霞がかかり、富士山の雄姿は見られなかったが…きっと澄み切った空だったら、ドカーンと真っ白な富士山が迫って見えたはず…残念。

速やかに行動食を済ませ CL の出発！の一言で下山開始する。登山道なので道はしっかりしていたが、急斜面の下山は要注意。途中で単独の男性が登ってきた。その男性は檜峰神社から登ってきたそうで、その男性のトレースを使わせてもらって下山時間を少し短縮することにした。軽アイゼンを装着して、登山道を埋め尽くすくらいに雪が積った斜面を快適に下降した。そこは道が迷いやすいルートなのか、ズーッとトラロープが張られていて迷いようがなかった。しかしそのトラロープがないと道迷いになり

そんな落葉樹の広い斜面でした。



釈迦ヶ岳の山頂



檜峯神社への雪の下降路

檜峰神社の標識は沢山あったけど、神社はどこにあったんだろう??? 里山の鎮守様のようなと思うけど…里山の人に大事にされているのかも??? 神座山川の脇を歩いて行くとまたフェンスがあり扉を開けてイノシシ除けのフェンスの檻?から出て、国道を少し歩いて、車をデポした御坂路さくら公園に到着した。

山スキーからハイキングに変更になったけど、CLはこの歩き応えのある尾根を、地図を見ながら物色して選んだそうでした。藪山マイスターのCLの楽しい山行でした…ありがとう!!!

文責 いしばしきよみ